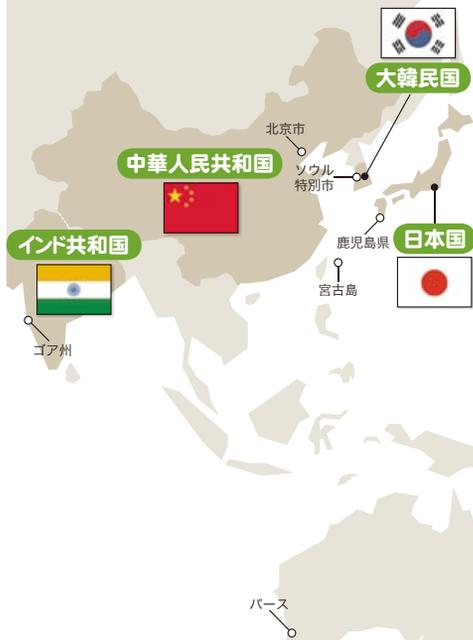


# 世界に広がるシェアのかたち

世界にはどんなシェアのかたちがあるの  
だろう？というわけで、世界各地で体験  
した様々なシェアについて伺いました。



## 中華人民共和国 北京市

### 新聞記事も…！？

中国の地下鉄では、隣の席の人が読んで  
いる新聞をあからさまに覗き見して  
いる光景をよく見かける。日本におい  
て、隣に座っている見知らぬ人が新聞  
や雑誌をあからさまに覗き見してきた  
ら、きっと覗かれた方は怒るだろう。  
しかし、中国では覗かれた方は怒らな  
い。中国は資本主義経済を採用したと  
いっても元々は社会主義国家。それが  
故に、新聞の覗き見に関しても、覗く  
方、覗かれる方ともに「別にいいじゃ  
ないか」というスタンスが見て取れる。

しのはら まさつぐ  
**篠原 正嗣さん**…在学時、北京に留学。  
北京で生活する中、その生活の節々に、  
以前は社会主義国家であった中国にお  
ける社会主義思想の名残を感じる。



## インド共和国 ゴア州

### 宿と一緒に思い出も

学生時代、一人旅を知って私の生活は  
一変、ローカルな人々の生活に触れ合  
うことができる貧乏一人旅に私はすっ  
かりはまってしまった。そして、いろ  
いろなバックグラウンドを持っている  
シェアメイトと語り合うのも旅の大き  
な楽しみだった。出身地や学歴、職業  
や年齢もバラバラ、唯一の共通点は全  
員が同じ安宿の一室をシェアしている  
というだけ。特にインドでは、短期間  
の旅のシェアメイトでもお互いに刺激  
を与え合い、その時々には凄くポジテ  
ィブな出会いがあったと思う。

イトウ クミコさん…日本在学時、一  
人旅を始める。毎日、自分の思うがま  
まに旅をしていたところ、インドのゲ  
ストハウスでの様々な人々との出会い  
をきっかけに、自分の将来について見つめなお  
す。現在、北米フロリダ州にて看護師として働く。



## 大韓民国 ソウル特別市

### 寝床まで？

韓国人は“ウリ（私達の）”という  
言葉を本当によく使う。“ウリマル（私  
達の言葉）”。“ウリナラ（私達の国）”。  
“ウリハッキョ（私達の学校）” などな  
ど、“私”ではなく、“私達”。ご飯を  
食べる時も、オカズは大皿でシェアし  
て食べるのが普通。ビビンバだって、  
アイスだって一個大きいのを皆で食  
べるのが一般的。銭湯に行けば、誰でも  
使ってOKなシェア歯磨き粉が無造作  
に置いてある。また、韓国人と一緒に  
住んでいる時、その子が友達をつれて  
来て、何故か私の布団で一緒に寝ること  
になった。布団をシェアするのもごく  
普通のことらしい。

ますかわ めぐみ  
**増川 恵さん**…文化を始め、言語の文  
法が日本に近いと言われている韓国に  
興味を持ち、学校卒業後、2年間韓国  
ソウルへ留学する。現在は日本で会社  
員として働くが、年に数回韓国を訪れる。



## 東アジア編

## 日本国 鹿児島県

### 島民同士が収穫物をシェア

上甕（かみこしき）島では、食べ物の  
シェアが日常的に行われています。漁  
師たちは水揚げされたばかりの新鮮な  
魚を、農家たちは収穫したばかりの旬  
な米や野菜を。生活に足りていないも  
のを互いに補い合っているのです。ち  
なみに、島にある家の玄関に鍵はか  
かかっていない。鍵穴はあっても、僕は  
一度も鍵をみたことがない。なぜ鍵を  
かけないか？それは、近所の人たちが  
入れなくなるからだ。夕方、家に帰っ  
て冷蔵庫を開ける。すると、いつのま  
にか美味しそうな魚が届けられている  
のです。そう、あとは焼いて食べるだ  
け。それが、上甕島の食のシェアにま  
つわるストーリーです。

ヤマシタ ケンタさん…鹿児島県上甕島  
で生まれ育つ。学校を卒業後、京都市  
内の民間企業勤務を経て、自身の地元  
甕島の“おいしい風景”を作るために  
鹿児島にUターン。現在、離島における地域産業  
のあり方について日々模索中。



## 日本国 沖縄県

### オトリーで回し飲み

宮古島には“オトリー”って文化があっ  
て、一つのグラスで、皆でお酒を回し  
飲みする。昔の沖縄では、重税で今よ  
りも庶民は貧しかったから、貴重な泡  
盛をみんなで平等に飲むために、“オ  
トリー”をしていたと聞いた。一つの  
オトリーグラスをシェアしていた。も  
ちろん、今でも“オトリー”をしてい  
るし、小さい時は、これが当たり前で、  
世界中のお酒の飲み方は“オトリー”  
だと思っていた。

すなかわ なおこ  
**砂川 菜穂子さん**…沖縄県宮古島で生ま  
れ育つ。現在、宮古島にて宮古民謡を  
唄い、三線を弾くことを仕事としてい  
る。フィジーにて宮古民謡を唄い、現  
地の人々と宮古島の文化を共有した経験を持つ。

